

開講年度	令和7年度	開講課程	博士後期課程		
授業名	医療情報リテラシーB				
開講キャンパス	紀三井寺・伏虎	教室	基礎教育棟3階講義室3 中講義室303		
科目区分	共通科目	配当年次	1年次		
必修・選択の別	選択	単位	1単位		
対象学生	一	使用言語	日本語		
キーワード	データ・マネジメント、リアルワールド・データ、コホート研究、ゲノム・オミックス解析、多変量解析、信頼性保証、医薬品情報				
担当教員 (下線:科目責任者)	医	教授 橋本真一、教授 下川敏雄、准教授 牟礼佳苗			
	薬	講師 阿部寛康、 <u>教授 伊藤達也</u>			
授業の概要	医療ビッグデータやゲノム情報などの医療情報を取り扱う研究分野の重要性が増していることから、医療情報の処理や活用の方法を倫理的な観点も含めて修得する。				
到達目標	<p>□医療分野の研究において、適切なデータ・マネジメントが実践できる。</p> <p>□出生コホート、地域住民コホート、疾患コホート、ゲノムコホートなどで取り扱う医療情報及びその取扱い方・留意点を理解する。</p> <p>□ゲノム情報を中心に学び、分子病態解析学における研究知識・実験技術を修得する。</p> <p>□薬学研究における多変量解析の使用方法を理解する。</p> <p>□信頼性のあるデータを適切に構築・評価できる能力を修得する。</p> <p>□電子カルテ上の医薬品情報を適切に評価・活用できる能力を修得する。</p>				
授業計画	<p>1. 2. 多変量データ解析B (阿部寛康／2回) 【5/16 6限・7限】 多変量解析の使用方法、使用上の注意点、解析結果の数値の見方を理解する。</p> <p>3. 分子病態解析法B (橋本真一／1回) 【5/23 6限】 ゲノム関連の悪性腫瘍、炎症疾患、感染症などについての最新のゲノム関連論文、バイオインフォマティックス等の解析法を紹介しながら概説する。</p> <p>4. データ・マネジメントと品質管理 (下川敏雄／1回) 【5/23 7限】 医療におけるデータマネジメントの方法について解説する。</p> <p>5. 各コホート研究の特徴と実例の紹介 (牟礼佳苗／1回) 【6/12 6限】 出生コホート、地域住民コホート、疾患コホート、ゲノムコホートなどで取り扱う医療情報の種類と、取り扱いの留意点を修得する。</p> <p>6. 医療分野におけるビッグデータ(リアルワールドデータ)の現状 (下川敏雄／1回) 【6/26 6限】 医療ビッグデータ(リアルワールド・データ)の国内外の現状について解説する。</p> <p>7. 臨床研究・治験における信頼性保証B (伊藤達也／1回) 【7/17 6限】 臨床研究・治験では、得られたデータの信頼性保証がなければ、論文や承認申請に用いることはできない。そのため信頼性のあるデータを適切に構築・評価できる能力を修得する。</p> <p>8. 医薬品情報に関する解析手法B (伊藤達也／1回) 【7/17 7限】 副作用防止や相互作用回避など適正な医薬品使用を推進するため、電子カルテ上の医薬品情報を適切に評価・活用できる能力を修得する。</p>				

授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	<p>【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>【参考書】授業計画3 「ゲノム 第4版」原著者：T. A. Brown 監訳：石川冬木、中山潤一 出版社：メディカル・サイエンス・インターナショナル</p> <p>授業計画4・6 「臨床試験データマネジメントデータ管理の役割と重要性」 著者：大橋靖雄・辻井 敦 出版社：医学書院 「リアルワールドデータと薬剤疫学」 著者：川上浩司（監修） 出版社：大修館書店</p> <p>授業計画5 書籍の代わりに、各コホートのWebサイトを紹介する。</p>